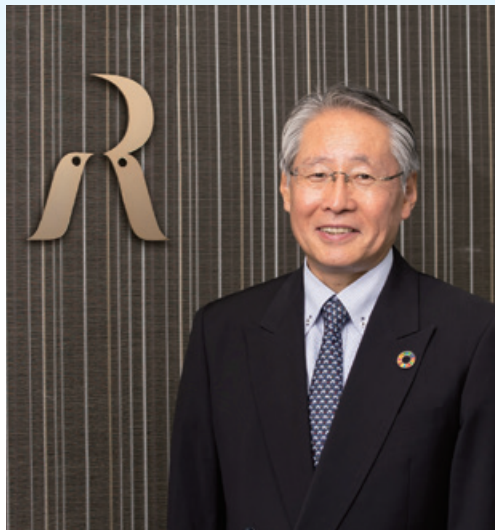


ごあいさつ



理事長
青柳 直

平素より九州労働金庫の事業運営に対するご支援とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

2024年度の日本経済は、賃上げや定額減税に加え、コロナ禍後における消費・インバウンド需要の高まりなどにより、総じて企業の設備投資や個人消費は堅調に推移したものの、円安、物価高、人手不足、海外市場の減速などを背景に景気回復の実感は得られていません。また、春闘の賃上げ率はバブル期以来の伸びを記録したものの、実質賃金は3年連続してマイナスとなるなど勤労者の生活は依然として厳しい環境に置かれています。

金融業界を取り巻く環境においては、2024年3月に日銀による「マイナス金利政策」が解除されたのち、2度にわたる政策金利の引き上げによって「金利ある世界」での預金獲得競争が激化しています。

そのような中、2024年度は「第8期中期経営計画（2024～2026年度）」の初年度として、「会員・お客さま・地域が〈心地よさ〉を感じられるサービスの提供」、「デジタルライゼーションの推進」、「人財を守り、育てる態勢の強化」、「持続可能な金庫運営の展開」の4つのテーマを中心に事業を展開してまいりました。おかげさまで、個人預金については、期間限定で発売した「プレミアム定期預金」により新規預金が大幅に増加し、目標を上回ることができました。一方、個人融資については、無担保ローンは順調に推移し目標を上回ったものの、有担保ローンはネット銀行を中心とした他金融機関の攻勢等により目標を下回りました。

2025年度は「第8期中期経営計画」の2年目となりますが、昨今の金融業界を取り巻く環境は、他業種からの金融事業への参入が相次ぐなど、これまで経験したことのない変革期を迎えており、あらゆる面で競争が激化していくことが想定されます。

九州ろうきんはそのような時代の変化に対応しながら「福祉金融機関」の使命と役割を決して忘れず、勤労者の生活課題に寄り添っていくとともに、地域社会の発展に貢献できるよう今後もさらなる努力を重ねてまいります。

ここに、九州労働金庫ディスクロージャー誌「ROKIN DISCLOSURE 2025」を作成いたしました。ご高覧いただき、当金庫へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。

CONTENTS

経営理念

ろうきんの理念と基本姿勢	02
お客さま本位の業務運営に関する取組方針	03
ろうきんSDGs行動指針	06
利益相反管理方針の概要	07
金融商品に関する勧誘方針	08
特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針	08
プライバシーポリシー（個人情報保護方針）	09
金融犯罪被害防止に向けた取り組み	10

事業の方針

中期経営計画・事業計画	12
コンプライアンスの体制	18
苦情・紛争に関する業務運営体制と内部規則の概要	21
リスク管理の体制	23

事業の状況

事業の概況	25
九州ろうきんの健全性・安全性	29
社会的責任と貢献活動	30
トピックス	37
事業の組織	38
歩み	39

営業のご案内

預金商品のご案内	40
各種業務のご案内	41
融資商品のご案内	42
各種サービスのご案内	44
取扱手数料のご案内	46
店舗のご案内	48
[店舗外] 自動機（CD・ATM）のご案内	53

資料編

単体情報	56
連結情報	83
九州ろうきんの概況	100
全国ろうきんの概況	101
索引	102

金額・比率の表示方法

1. 金額単位

- ①各表に表示した金額は、特段の表示がない限り、単位未満の端数を切り捨てて記載しています。
- ②小計・合計等の合算値は、円単位まで算出し、単位未満を切り捨てて記載しています。したがって、内訳の合計と小計欄・合計欄の金額が一致しない場合があります。

2. 諸利回り・諸比率

小数点第3位を切り捨てし、第2位までを記載しています。なお、算出にあたっては、千円単位もしくは円単位の計数を使用しています。

3. マイナスの表示

数値がマイナスの場合は数値の前に「△」を表示しています。

(注) 金額・比率とも該当数値がない場合は「－」、該当数値があっても表示単位に満たない場合は「0」で表示しています。

※本誌は、労働金庫法第94条第1項において準用する銀行法第21条（業務及び財産の状況に関する説明書類の縦覧等）の規定に基づいて作成した資料です。
資料の数値で、特に「現在日」の表記がない場合は、2025年3月31日現在のものです。